

枚方市と枚方市職員関係労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和6年(2024年)6月19日(水) 午後6時30分～午後7時30分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約20名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、教育政策課長、上下水道総務課長、市立ひらかた病院総務課長、書記（人事課・職員課 課長代理）
4. 課 題 「2024年職員採用・人事制度に関わる要求書」及び「ジェンダー平等に関する要求書」に基づく交渉（2回目）

<交渉内容要旨>

I. 今年度の採用試験について

組 合	市
今年度の採用試験について、実施時期や採用規模など、現時点で示せる内容を確認したい。	採用試験については、7月中から一次試験を実施し、採用規模については、育児休業や派遣等で長期欠員者が生じる場合など、職場環境に著しく影響を及ぼすケースへの弾力的な対応なども踏まえ、90人程度と考えている。 また、主な募集職種は、事務職は大学卒、一般卒、資格卒として、IT、福祉、司書、そして、障害者雇用率3.0%を安定的に上回ることができるよう障害者卒を設ける。技術職は、土木職、建築職、電気職において大学卒、資格・経験卒の区分を設けたい。専門職は、保育士のほか保健師、臨床心理士、管理栄養士といった職種を予定している。現業職は、職のあり方や各職場における見直しの取り組みを踏まえると、大変厳しい状況だが、調理員の区分を設けたい。
年齢要件について、即戦力の確保の観点もあるかもしれないが、職員の適正な年齢構成の確保の観点から、一定の制限を設けてもよいのではないかと。 また、高卒対象の採用試験は、別途実施する予定なのか。	年齢要件については昨年度と同様の形で実施していきたいと考えている。 また、高卒対象の採用試験は秋に実施する予定である。

Ⅱ. 技能労務職員の採用について

組 合	市
技能労務職員については、調理員は検討をしているということだが、作業員などその他の職種については言及がなかった。 環境部での5か年計画が終了したこともあり、今後、安定した行政サービスを提供するためには、年齢構成の平準化や技術・経験の継承は不可欠であることから、調理員以外の職種についても採用を強く求める。	各職場における見直しの取組などを踏まえると、厳しい状況ではあるが、最後まで検討を重ねたい。

Ⅲ. 障害者雇用について

組 合	市
障害者雇用については、雇用率目標である3%を下回っている状況であり、積極的な採用を求める。また、職場環境の整備にもしっかりと取り組んでいただきたい。	目標の3%を安定してクリアできるよう、障害者活躍推進計画の内容も踏まえ、募集人数を決定していく。

Ⅳ. 非正規職員の処遇について

組 合	市
非正規職員の処遇改善については、秋の賃金確定闘争における課題であると考えているが、賃金比較により、他市に人材が奪われることのないよう、前向きな検討を進めるように改めて求めておく。	今後も引き続き協議を重ねながら検討していきたい。

Ⅴ. 係長の役割と処遇について

組 合	市
係制への移行により、係長・監督が業務マネジメントを担うこととなったが、課長代理との業務の線引きがあいまいであるなど課題が生じている。モチベーション向上のための処遇改善を含む対策が必要だと考えるが、見解を聞く。	係制については導入初年度ということで、課題は認識している。 処遇などの課題については、引き続き協議を重ねながら検討していきたい。